

授業科目名 <英訳>	健康情報学 I Health informatics I		担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 中山 健夫						
	医学研究科 准教授 高橋 由光	医学研究科 非常勤講師 宮崎 貴久子		岡山大学大学院 教授 津田 敏秀						
配当 学年	専門職	単位数 2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	金2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語

[授業の概要・目的]

健康・医療情報、データや知識の収集、蓄積、伝達、検索、評価法、情報リテラシー、ヘルス・コミュニケーション（リスクコミュニケーション含む）、個人情報保護などの情報倫理の課題について講義する。疫学やEBMを基本として、医学文献からマスメディア、インターネットによる健康情報まで、さまざまな情報の特徴を知り、それらを主体的、効果的に活用する方法を考える。インターネットによる健康情報の評価に関しては、NPO法人日本インターネット医療協議会によるeヘルス倫理コードversion 2を利用して実際のウェブサイトの評価・作成の手法を学ぶ。さらに欧米の医療関係者に関心の高い性格テスト・MBTI(Myers-Briggs Type Indicator)のワークショップを通して、個人の情報処理・認知の特性とコミュニケーションに関して体験的理解を深める。

教育・学習方法
講義形式と実習

[到達目標]

- ・疫学・EBMの知識を応用して、各種の健康・医療情報を適切に活用できる。
- ・マスメディア情報、インターネット情報を収集し、適正な吟味を行った上で意思決定、問題解決、そしてコミュニケーションの素材とすることができる。
- ・MBTIの視点から、個人の情報処理・認知、コミュニケーションの特性を理解する。

[授業計画と内容]

- (変更の可能性があるので開講日に確認して下さい)
- 第1回 10月6日 疫学とEBMからの健康情報リテラシー入門 (1)
 - 第2回 10月13日 疫学とEBMからの健康情報リテラシー入門 (2)
 - 第3回 10月20日 患者視点の情報：Quality of life と Patient reported outcome
 - 第4回 10月27日 インターネットとe-ヘルス
 - 第5回 11月10日 質の高い医療情報の集約・共有・普及：根拠に基づく診療ガイドラインを考える
 - 第6回 11月17日 ナラティブ情報の意義と可能性
 - 第7回 11月24日 「がん」をめぐる患者・国民・医療者向け情報の整備
 - 第8回 12月1日 疫学情報と因果関係論
 - 第9回 12月8日 ベネフィットとリスクのコミュニケーション
 - 第10回 12月15日 ヘルス・リテラシーとリスク・コミュニケーション
 - 第11回 12月22日 代替医療とプラセボ：健康情報とコミュニケーションの視点から
 - 第12回 1月5日 パブリックヘルス・インフォマティクス
 - 第13回 1月11日 個人の情報処理・認知特性からコミュニケーションへ：MBTI(エムビーティーアイ:Myers-Briggs Type Indicator)セミオープンワークショップ 13時30分～17時30分
 - 第14回 1月12日 個人の情報処理・認知特性からコミュニケーションへ：MBTI(エムビーティーアイ:Myers-Briggs Type Indicator)セミオープンワークショップ 9時～12時、13時～16時

健康情報学 I (2)へ続く

健康情報学 I (2)

第15回 1月19日 総合討論・個別発表「健康情報学Iを履修して」

【履修要件】

疫学または根拠に基づく医療 (evidence-base medicine: EBM) の基礎知識を持つことが望ましいが、必須ではない。

【成績評価の方法・観点及び達成度】

毎回の小レポート提出80%、発表20%

【教科書】

講義資料は配布

【参考書等】

(参考書)

中山健夫著 『健康・医療の情報を読み解く：健康情報学への招待』 (丸善書店)

中山健夫監修 『ヘルスコミュニケーション実践ガイド』 (日本評論社)

中山健夫・杉森裕樹監訳 『FDA リスク&ベネフィットコミュニケーション』 (丸善書店)

【授業外学習(予習・復習)等】

予習よりも復習に十分時間を取ることを

(その他(オフィスアワー等))

情報とは「意思決定において不確実性を減じるもの」と定義されます。社会における健康・医療に関する情報の適切なあり方、そして個人の特性理解の視点から、情報のコミュニケーションについて考えてみたいと思います。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 可

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。